

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 4年 3月 1日

事業所名: おみそマッスル

保護者等数(児童数) 14

回収数 9

回答率 64.2 %

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	77.80%	22.2%	0%	0%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	77.80%	22.2%	0.0%	0.0%	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11.1%	55.6%	11.1%	22.2%	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	66.7%	33.3%	0%	0.0%	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	66.7%	22.2%	11%	0.0%	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88.9%	11.1%	0%	0%	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	88.9%	22.2%	0%	0%	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	66.7%	22.2%	11%	0%	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11%	11.1%	0%	77.8%	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	77.8%	22.2%	0%	11.1%	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	44.4%	11.1%	11.1%	33.3%	
	14 個人情報に十分注意しているか	66.7%	22%	0%	11.1%	
非常 時等 の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	61.1%	11.1%	22.2%	22.2%	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0.0%	11.1%	33.3%	55.6%	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	89%	0%	0%	11%	
	18 事業所の支援に満足しているか	66.7%	33.5%	0%	0%	

【感想】

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 1日

事業所名:おみそマッスル

保護者等数(児童数)59

回収数30

回答率 50.8 %

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86.7%	13.3%	0%	1%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	76.7%	16.7%	0%	6.7%	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	65.5%	13.8%	3%	17.2%	
適切な 支援の 提供	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか。	93.3%	3.3%	0%	3.3%	
	5 子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	80.0%	6.7%	0%	13.3%	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援・家族支援・地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	60.0%	6.7%	3%	30.0%	
保護者 への 説明 等	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	73.3%	13.3%	3.3%	10.0%	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	73.3%	20.0%	0%	6.7%	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	43.3%	3.3%	30%	23.30%	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96.7%	3%	0%	0%	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	66.7%	23.3%	0%	10.0%	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）が行われているか	30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	
	13 日ごろからの子供の状況を保護者と伝え合い、子供の健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	83%	6.7%	6.7%	3%	
	14 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	73.3%	6.7%	6.7%	13.3%	
非常 時 等 の 対 応	15 父母の会の活動や支援、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10.0%	13.3%	46.7%	30.0%	
	16 子供や保護者からの相談や申し入れにもとづいて、対応の体制が整備されているとともに、子供や保護者に周知・説明され相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	69.0%	13.8%	0%	17.2%	
	17 子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	76.7%	13.3%	3.3%	6.7%	
満足 度	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に対する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信されているか	40.0%	10.0%	6.7%	43.3%	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	73.3%	3%	0%	23.3%	
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対策対応マニュアル等を策定し保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練がなされているか	26.7%	13.3%	6.7%	53.3%	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練が行われているか	10.0%	3.3%	16.7%	70.0%	
	22 子供は通所を楽しみにしているか	86.7%	10.0%	0%	3%	
	23 事業所の支援に満足しているか	83.3%	13.3%	0%	3%	

【感想】

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 3月 1日

事業所名: おみそマッスル

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			同時刻に3組までの利用としている
	2 職員配置数は適切であるか	○			1対1の個別療育
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			バリアフリーと目的意識で段差を作っている場所を明確にしている。作業活動できる場所と運動の場所を視覚的に理解できるように配慮した
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			コロナ対策も考慮し、1時間ごとの換気、消毒や掃除等を行い清潔を保つよう努めている
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		研修等で事業所の目標を周知するとともに各職員の振り返りを行う
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的な事業所についてのアンケートを実施。コミュニケーションをとる時間を確保し、保護者と職員で共有できるように努める
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果を公開している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部での評価実施は今後の課題、他事業所とも連携していくことが必要
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月一回の研修を行い、リモート研修にも積極的に参加
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントシートや聞き取りを行い、保護者のニーズを取り入れ計画を作成
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			療育開始時に保護者からのアセスメントを行い、聞き取り評価と実際の行動を観察、評価をする
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画書の確認と、日々計画の修正はないか検討する機会を設けている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員全体が周知できるように、カンファレンスを行っている
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童に対する評価と運動強度や難易度の再検討をしている	

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	○			子どもの成長に合わせ順次取り入れている
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、朝礼で実施している
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎支援終了後5分間で共有する時間をとっている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、見直しを行う
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			児童発達支援管理者と担当職員が参加予定
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		連携に力を入れて支援を行う
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			特に必要な場合は主治医の指示を確認
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			必要な場合は連携をとっていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて書面や電話にて情報共有をしている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		必要に応じて書面や電話情報共有をしている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修等にも積極的に参加していき、連携の強化を図っていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後、準備し実施していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育終了後にフィードバックを行い共通理解をもつようになっている
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		療育時に気を付けていることや、気を付けた方がよいことを共有しながら家族支援に繋げていく	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			ガイドラインに沿った支援になるように努めていく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			療育中にすぐに対応できるように職員を配置、
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			地域の保護者会に参加
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情への対応は迅速に対応していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			連絡は配布資料やメールなどで実施している。情報はSNSでも発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			研修などでも細かな取り扱いに周知してもらっている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			療育後のフィードバックで情報共有ができるようにしている
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域参加型のイベントを実施予定
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			保護者、職員に周知していくように、訓練等を今後実施していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的な防災訓練等を実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			初回のアセスメント時に情報聞き取り情報の共有を行うようにしている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて対応していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットノートに記載し再発防止方法を検討
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を受け、適切な対応ができるように実施
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			必要に応じて実施	

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公)

公表: 2022年 3月 1日

事業所名: おみそマッスル

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			同時刻に最大3組までの利用でスペースの確保を実施
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差には注意書きを実施
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			研修等で事業所の目標を周知するとともに各職員の振り返りを行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			療育中でも話をする時間を確保し、その後情報の共有を図っている
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページを作成し、情報がみれるようにしている
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		周囲の評価を聞き改善に努める
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月一回の研修を実施、外部研修にも積極的に参加
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			療育ごとに保護者と話す機会を設け、アセスメントを実施
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			療育開始時に聞き取り評価と実際の行動を観察、評価をする
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にかンファレンスを行い、チームでのプログラムの立案を実施
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的プログラム変更のためのミーティングを実施
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		自宅でのホームプログラムの提案は今後の課題
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの成長に合わせ順次取り入れている
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、朝礼終礼において実施している
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎支援終了後共有する時間をとっている
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の見直しと、今後の課題などについても話し合う機会を設けている
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、見直しを行う
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
関係機関や保護者	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			参加するときは児童発達支援管理者と担当職員が参加
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		連携しながら支援を行う
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		特に必要な場合は主治医の指示を確認
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じて情報共有をしていく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて情報共有をしていく

自 と の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所との連携や研修を今後も実施していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	今後地域への積極的な参加もしていく必要がある
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育終了後にフィードバックを行い共通理解をもつようになっている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者のニーズに合わせて、関わり方についての支援を行っている
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		疑問に思っている事について質問などないか日々確認を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		専門職との協力のもと、適切な支援に繋がるように工夫している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今後、計画していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		メール配信や電話にて周知の徹底に努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	連絡は配布資料やメールなどで実施している
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		療育後のフィードバックで情報共有ができるようにしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域参加型のイベントを実施予定
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		防災訓練等を実施していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的な研修を受け、職員の周知に努めていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		必要に応じて実施
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	必要に応じて対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットをファイル化し再発防止方法を検討